

2009년 10월 26일 보낸 편지입니다.(1,012조회)

몸 신호
体の信号

몸의 신호에 귀를 기울여라.
体の信号に耳を傾けなさい

우리 몸은 우리가 규칙을 위반할 때마다
私たちの体は、私たちが規則を違反するときごとに

불쾌함이나 뻣뻣함, 고통 등의 증상으로 우리에게
不快や硬さ(肩こり)、苦痛などの症状で私たちに

그 사실을 알려준다. 우리의 몸은 그 나름대로 지혜를
その事実を知らせてくれる。私たちの体は、それなりに知恵を

가지고 있으며, 우리에게 균형이 깨졌다는 신호를 보낸다.
もっていて、私たちに均衡が崩れたという信号を送る

질병은 우리로부터 배신당한 육체가 우리에게
疾病は、私たちから裏切りを受けた肉体が私たちに

대화를 요구하는 방법이라고 할 수 있다.
対話を要求する方法だと言うことができる。

우리 대부분은 우리 몸의 목소리에 귀를 기울이기보다는
私たちの大多数は、私たちの体の声に耳を傾けるよりは、

오히려 채찍으로 우리 몸을 더욱 다그친다.
むしろ鞭で私たちの体をさらに催促する。

- 기 코르노의《마음의 치유》중에서 -
- キ・コルノ<心の治癒>より -

* 몸이 말을 걸어올 때가 있습니다.
* 体が言葉をかけてくるときが有ります。

감기로, 더부룩함으로, 결림으로, 냄새와 빛깔로...
風邪で、胃のもたれで、凝りで、においと色取りで

이제라도 제발 몸 좀 챙겨달라고 신호를 보내는데도
いまこそ、どうか体をちょっとちゃんとしてくれと信号を送っても

무심하게 그냥 지나쳐 버리면, 자칫 엄청난 대가를
無常にも、そのまますごしてしまえば、ちょっと思いもよらぬひどい対価を

치르게 됩니다. 우리 몸은 더없이 정직합니다.
払ようになります。私たちの体は、何より正直です。

몸의 신호를 감사하게 받아들이고
体の信号を感謝し、受け入れて

다시 한번 몸을 챙겨 보세요.
もう一度体をちゃんとしてみてください。

(2007년 10월 18일자 앙코르메일)
(2007年10月18日付アンコールメール)

신:호 [信號]

[명사·하다형 자·타동사] 信号。

ふ-かいを感じる → ふ-かい

불쾌함을 느끼다.

뻘뻘-하다

<1> {형용사·어 불규칙 활용} (物または手足などが)こちこちだ;こわばっている;こわい;硬直している。

<2> {형용사·어 불규칙 활용} (糊氣が多くて)こわい;硬い。

증상 [症状]

[명사] 症状;病氣や負傷の状態;病状;症候。

균형 [均衡]

[명사] 均衡;釣り合いがとれていること;平衡;バランス。

깨:-지다

<1> [자동사] (かたい物が)壊れる;割れる;碎ける。

<2> [자동사] (ぶつかって)傷つく;ひび割れする。

배:신 [背信]

[명사·하다형 자·타동사] 背信;裏切り。

-당하다 [當一]

<접미사> [여 불규칙 활용] 動作を表わす名詞に付いて, その語を受け身に変える:…される;
受ける;会う;被る;見舞われる。

채찍

[명사] 鞭。

다그-치다

[타동사] せき立てる;催促する;拍車をかける。

걸어-오다

[자동사] 歩いて来る;徒歩で来る。

더부룩-하다

<1> {형용사·어 불규칙 활용} (草木や髪などが)ぼうぼうしている。

<2> {형용사·어 불규칙 활용} (消化不良で胃が)もたれる。

고리 [凝り]

[명사] 근육이 빠근함. 결림.

냄:새

<1> [명사] (におい;香り;(特有の)臭み。

<2> [명사] 雰囲気;気配;…らしさ;…めいた感じ;におい。

빛-깔

[명사] 色彩;色;いどころ。

챙기다

<1> [타동사] 取り纏める;取りそろえる;片付ける;始末する。

<2> [타동사] (食べ物)準備する;支度する。

무심 [無心]

<1> [명사·하다형 형용사] 無心;何の考えもないこと。

<2> [명사·하다형 형용사] 感情のないこと;無情なこと。

자칫

<1> [부사] (ある物事がほんの少し食い違っていることを表わして)万が一;ちょっと。

<2> [부사] やや;少し。

엄청-나다

[형용사] 思いもよらぬ程ひどい;予想外である;とてつもない;とほうもない;度外れた;非常に多い[大きい]。

대:가 [代價]

[명사] 代価。

<1> [명사] 品物の値段;代金。

치르다

<1> [타동사] (賃金などを)払う。

<2> [타동사] (重大な事などを)行う;済ませる;終える。

20091026.txt

더-없이

[부사] この上なく;またとなく;何より。

2009년 10월 27일 보낸 편지입니다.(2,127조회)

보석
宝石

보석도
宝石も

볼 줄 아는 사람에게나
見ることができる人にも

가치가 있는 것이다. 인생도 그렇다.
価値があることだ。人生もそうだ。

자신을 소중히 여기는 사람일수록
自身を大切に思う人であるほど

가치 있는 인생을 살 수 있다.
価値ある人生を生きることができる。

- 탄쥐잉 편저의《살아 있는 동안 꼭 해야 할 49가지》중에서 -
- タン・ジョイン編著<生きている間に必ずしなければならない49>より -

* '당신'은 보석입니다.
* 'あなた'は宝石です。

그것도 보통의 보석이 아니고,
それも、普通の宝石ではなく

하늘 아래 오직 하나밖에 없는 보석입니다.
天の下(この世)に、ただ一つしかない宝石です。

그 가치를 스스로 소중하게 여기지 않으면,
その価値を、自ら大切に思わなければ

아무도 소중하게 여기지 않습니다.
だれも大切に思いません。

(2006년 1월 16일자 앙코르메일)
(2006年1月16日付アンコールメール)

소:중-히 [所重-]

[부사] 大切に;大事に。

여기다

[타동사] 思う;感じる;認める。

편저 [編著]

[명사·하다형 타동사] 編著;著述して編集すること, またその本。

보:통 [普通]

[명사] 普通。

<1> [명사] 他と変わっていないさま, またはごくあたりまえなさま:なみ;通常。[반의어] 특별(特別)。

2009년 10월 28일 보낸 편지입니다.(1,150조회)

당신이 기뻐하리라는 것을 알기에
あなたが、喜ぶだろうことを分かるから

진정한 사랑과 로맨스는
本当の愛と、ロマンスは

매일매일의 삶 속에서 커가기 마련입니다.
毎日毎日の人生の中から育っていくものです。

특별한 경우나 과장된 행동 속에서 자라나는 것이 아닙니다.
特別な場合や、誇張された行動の中から育つことはありません。

아무리 바빠도 사랑하는 이가 기뻐하리라는 것을 알기에
いくら忙しくても、愛する人が、喜ぶだろうことを分かるから

넌지시 상대방의 빨래를 대신 해주거나 서점에
それとなく相手方の洗濯物をかわりにしたり、書店に

잠시 들러 책을 한 권 사서 선물하는 바로
ちょっとはいつて、本を1冊かって贈ることが、まさに

그 순간에 사랑이 피어납니다. 사랑은
その瞬間に愛が、咲きます。愛は

그렇게 작고 아름답고 소중한 순간에
そのように小さく、美しく、大切な瞬間に

우리에게 살며시 미소 짓습니다.
私たちに、ひっそりとほほえみます。

- 토니 레이튼-단토니오의《진짜가 된 헝겊토끼》중에서 -
- トニー・レイテン-ダントニオ<本当になる布ウサギ>より -

* 사랑은 상대방을 먼저 살피는 것입니다.
* 愛は、相手方をまず見守ることで。

그(녀)가 지금 무엇을 원하며 무엇을 찾고 있는지,
彼(彼女)が今何をのぞんでいるのか、何を探しているのか

지금 어디가 가장 가렵고 왜 아파하는지를 조용히 살피
いま何処が、一番痒いのか、なぜ痛いのかを静かに見守り

한 뼘이라도 가까이 먼저 다가가는 것입니다.
指尺でも、近くまず近づいていくことです。

'나에게 이렇게 해주길 바래'가 아니라
'私にこのようにしてくれることを望む'ではなく

'당신에게 이렇게 해주고 싶었어'이고,
'あなたにこのようにしてあげたい'

'나의 기쁨이 당신의 기쁨'이 아니라
'私の喜びがあなたの喜び'ではなく

'당신의 기쁨이 나의 기쁨'인 것을
'あなたの喜びが、私の喜び'であることを

매일매일 드러내는 것입니다.
毎日毎日、表に出すことです。

(2007년 11월 28일자 앙코르메일)
(2007年11月28日付アンコールメール)

기뻐-하다

<1> [자동사] [타동사·여 불규칙활용] 喜ぶ;うれしがる。

<2> [자동사] [타동사·여 불규칙활용] 楽しむ;なつかしがる。

이리라

[조사] 子音で終わる体言の後に付いて, 「…であろう」の意で推量を表わす終止形
叙述格助詞(母音のあとでは '이' を省くこともある): だろう; であろう。

커가다 成長する

과:장 [誇張]

[명사·하다형 타동사] 誇張;大袈裟なこと。

이4

[의존명사] 他の語に付いて, 人や物事を表わす。

년지시

[부사] それとなく;そっと;暗に。

빨래

<1> [명사] <하다형 자동사>洗濯すること;汚れた着物などを洗濯すること。

<2> [명사] 洗濯物。

살며시

[부사] そっと;そうっと;こっそり(と);密かに。[큰말] 슬며시

형:겉

[명사] 布切れ;布。

뺨:

<1> [명사] (指で物の長さをはかるときの)親指と中指をいっばいに広げた長さ;指尺。

<2> [명사] ⇒장뺨

토끼

[명사] 『동물』ウサギ(ウサギ科の哺乳動物の総称)。

다가-가다

[자동사] 近寄る;近寄って行く;近づく;接近して行く。

드러-내다

<1> [타동사] 表に出して示す;表わす;目立たせる;露にする;さらけ出す。

<2> [타동사] (名を世に)揚げる;とどろかす。

(Toni Raiten-D'Antonio)

なんて読むんだろう??

2009년 10월 29일 보낸 편지입니다.(5,374조회)

셰익스피어의 사랑 노래
シェイクスピアの愛の歌

어떤 허물 때문에 나를 버린다고 하시면
ある欠点のために、私を捨てたといわれるなら

나는 그 허물을 더 과장하여 말하리라.
私はその欠点を、誇張して話そう

나를 절름발이라고 하시면
私を足の不自由な人だと言われるなら

나는 곧 다리를 더 절으리라.
私は、必ず足を引きづるだろう

그대의 말에 구태여 변명 아니하며…
あなたの言葉にあえて弁明せずに…

그대의 뜻이라면
あなたの意思ならば

지금까지 그대와 모든 관계를 청산하고
今まであなたとの、すべての関係を清算して

서로 모르는 사이처럼 보이게 하리라.
お互い知らない間柄のように、見えるようにするだろう

그대가 가는 곳에는 아니 가리라.
あなたが行くところには、行かないだろう

내 입에 그대의 이름을 담지 않으리라.
私の口であなたの名前を話題にしないだろう

불경(不敬)한 내가 혹시 구면이라 아는 체하여
不敬なわたしが、知りあいだと分かるそぶりをして

그대의 이름에 누를 끼치지 않도록.
あなたの名前に巻き添えをかけないように

그리고 그대를 위해서
そしてあなたのために

나는 나 자신과 대적(對敵)하여 싸우리라.
私は、私自身と敵対して戦うだろう

그대가 미워하는 사람을 나 또한 사랑할 수 없으므로.
あなたが憎む人を、私が二度と愛することができないので。

- 셰익스피어의《소네트 시집》중에서 -
- シェイクスピアの<ソネット集>より -

* 이별과 실연의 아픔을 상대방에 돌리지 않고,
* 離別と失恋の痛みを相手方にまわさず

20091029.txt

그 어떤 다른 구실로도 돌리지 않고, 오로지 자기 내면으로
そのどんなほかの言い訳もまわさず、ひたすら自身の内面で

끌어당겨 그 쓰라린 고통을 순백(純白)한 사랑으로 승화시켜 가는,
ひきつけて、そのつらかった苦痛を純白な愛で、昇華させていく

아름답고도 슬픈 사랑 고백의 극치입니다.
美しくも、悲しい愛の告白の局地です。

역시 셰익스피어입니다.
さすがシェークスピアです。

(2001년 10월 12일자 앙코르 메일)
(2001年10月12日付アンコールメール)

- 잘 다녀왔습니다 -
- 帰ってきました -

여러분의 염려 덕분에
皆様の念慮のお陰で

아침지기들을 포함한 45명 모두가
朝の志を包んだ45名すべてが

그야말로 털끝 하나 다치지 않고 어제 오후 무사히 귀국했습니다.
それこそ、毛の先一つも怪我をせず、昨日午後無事に帰国しました。

관심과 사랑으로 지켜봐 주신 여러분께 감사를 드립니다.
関心と愛で見守っていただいた皆様に感謝をいたします。

이번 여행에서 얻은 많은 영감과 명상의 힘으로
今度の旅行で、得たたくさんの靈感と瞑想の力で

'꿈너머꿈'의 길을 향해 더욱 힘차게 걸어가겠습니다.
'夢のまた夢'の道をめざしてさらに力強く歩いていきます。

오늘까지로 앙코르 메일을 끝내고
今日まででアンコールメールを終え

내일부터는 그날그날 새로 빛은 마음의
明日からはその日その日の新しい日差しの心で

비타민을 보내드리겠습니다.
ビタミンをお送りいたします。

♪ 오늘 아침편지 배경 음악은...
今日の朝の手紙のバックミュージックは

장 프랑스와(Jean Francois) 연주의 'Pour Elle' 입니다.
ジャン・フランソワ演奏のプルエルです。

오늘도 많이 웃으세요.
今日もたくさん笑ってください。

허물2
<1> [명사] 欠点;키즈;あら。

<2> [명사] 過ち;過失;とが;罪。

과:장 [誇張]

[명사·하다형 타동사] 誇張;大袈裟なこと。

절름발-이

[명사] 足の不自由な人。

절:다2

[자동사][타동사] 足をひきずる。

구태어

[부사] わざわざ;強いて;敢えて。

변:명 [辯明]

[명사·하다형 타동사] 弁明;弁解;言い訳。

뜻

<1> [명사] 言葉や文章の内容や意味。

<2> [명사] 言外の意味;裏の意味。

청산 [清算]

[명사·하다형 타동사] 清算。

<1> [명사·하다형 타동사] 相互間の貸し借りを計算して, きまりをつけること。

담:다

<1> [타동사] (器に)盛る;よそう;入れる。

<2> [타동사] (うわさ, 悪口などを)口にする;口に出す;話題にする。

구:면 [舊面]

[명사] 旧知;昔なじみ。

체-하다

<보조동사> {여 불규칙 활용} 語尾 ‘-ㄴ-은-는’ の下に用いられて:…(した)

ふりをする;それらしい様子[ふり]をする。

누: [累]

[명사] 累;まきぞえ;迷惑。

끼치다2

<1> [타동사] (面倒;迷惑を)かける。

<2> [타동사] (影響などを)及ぼす;(後世に)残す;及ぼす。

돌리다2

[타동사] ‘돌다’ の使役:回らせる。

<1> [타동사] (軸を中心に)回す;回転させる。

구:실 [口實]

[명사] 口実;言い訳;言い逃れ;理屈。

오:로지

[부사] ひたすら;もっぱら;一途に;ただ;ひとえに。

끌:어-당기다

[타동사] 引き寄せる;引きつける;手繰り寄せる。

쓰라리다

<1> [형용사] (傷口が)ひりひりする;ずきずきする。

<2> [형용사] 辛い;痛い;心苦しい。

염:려 [念慮]

[명사·하다형 타동사] 念慮;心が置けないこと;心配すること。

지기 [志氣]

[명사] 志氣;(なそうとする)意気ごみ;こころざし。

털-끝

<1> [명사] 毛の先。

<2> [명사] ごく微細なもの;毛の先;毛頭;ちつとも。

다치다

<1> [자동사][타동사] 怪我をする;痛める;傷つく。

<2> [자동사][타동사] (手で)触る;ふれる。

영감 [靈感]

[명사] 靈感。

<1> [명사] 神の啓示を受けたように頭にひらめく神妙な考え。

2009년 10월 30일 보낸 편지입니다.(992조회)

예술적 지성
芸術的知性

멋진 작품을 창조하기
素敵な作品を作り出そうと

위해서는 우선 상상력이 필요하다.
するためには、まず想像力が必要だ。

그러나 그것만으로는 부족하다.
しかしながら、それだけでは不足だ。

예술적 지성이 반드시 뒤따라야 한다.
芸術的知性が必ず後に続かなければならない

예술적 지성이란 현실과 상상력 사이의 점들을
芸術的知性とは現実と想像力の間いくつかの点を

연결할 수 있는 능력이다. 상상력은 가능성을
連結することができる能力だ。想像力は可能性を

파악하고, 지성은 그 가능성을
把握して、知性は可能性を

머릿속에서 가공한다.
頭の中で加工する。

- 스탠 데이비스의《예술가처럼 일하라》중에서 -
- スタン デイビスの<芸術家のような仕事をしよう>より -

* 멋진 작품뿐 아니라
* 素敵な作品だけではなく

멋진 인생을 만들기 위해서도
素敵な人生を作るためにも

현실과 상상력의 결합이 필요합니다.
現実と想像力の結合が必要です。

현실과 상상력 사이가 처음에는 아득해 보이지만
現実よ創造力の差がはじめはるかに遠く見えるが

어느 순간 하나가 되어 '상상의 세계'가 '현실의 세계'로
ある瞬間一つになり'最上の世界'が'現実の世界'として

바뀌어 있음을 발견하게 됩니다. 그런 능력을 갖게 하는
変わっていくのを、発見するようになります。そのような能力を持つように

'예술적 지성'은 독서, 명상, 여행 등을 통해서, 특히
'芸術的知性'は読書、瞑想、旅行などを通じて、特に

좋은 사람, 좋은 경험과의 만남을 통해
いい人、いい経験との出会いをつうじて

높여 갈 수 있습니다.
高めることができます。

지성 [知性]

[명사] 知性。

<1> [명사] 思考・判断の能力。

멋-지다

<1> [형용사] なかなか粋だ;なかなかすてきだ;なかなかいかす。

<2> [형용사] すばらしい;すてきだ;見事だ。

창:조 [創造]

[명사·하다형 타동사] 創造。

<1> [명사·하다형 타동사] 新しいものを初めてつくり出すこと。

단어·뜻 검색결과 (1~1 / 총1건)

뒤:-따라오다

[타동사] 後に付いて来る;後をつけて来る。

아득-하다

<1> {형용사·여 불규칙 활용} (距離的・時間的に)はるかだ;はるかに遠い。

<2> {형용사·여 불규칙 활용} めどが付かない;漠然とする。

[명사] 上々;最上。

스탠 데이비스

STAN DAVIS

スタン デイビス

20091031.txt

2009년 10월 31일 보낸 편지입니다.(263조회)

매주 토요일엔 독자가 쓴 아침편지를 배달해드립니다.
毎週土曜日には、読者が書いた朝の手紙を配達いたします。

오늘은 안동철님께서 보내주신 아침편지입니다.
今日は、アン・ドンチョルさまから、送っていただいた朝の手紙です。

“당신에게서 아름다운 향기가 나네요.”
“あなたから美しい香りがするね”

그와 더불어 이야기 하면
彼とともに話をすれば

난초의 향기가 풍기는 것 같고,
ランの香りが漂うようで

기상은 비 개인후의 가을 하늘이요,
天気は雨が晴れたあとの秋の空であり

얇은 구름이 막 걸힌 뒤의 밝은 달과 같아,
低い雲がまさに晴れた後の明るい月のように

인욕(人慾)을 초월한 삶이다.
人欲を超越した人生だ。

- 최인호의《유림》중에서-
- チェ・インホの<儒林>より -

* 이조 중종 때
* 李朝中宗時代

대학자였던 정암 조광조가
大学者だった静庵、趙光祖(チョ・グワンジョ)が

친구인 양팽손의 사람됨을 가리켜 쓴 글을
友人である梁彭孫の人なりを示して書いた文章を

저자가 <유림>에 옮겨놓은 내용입니다.
著書が<儒林>に置き換えた内容です。

결실의 계절을 맞는 이 아침, 주변의 많은 사람들이
結実の季節を迎えるこぼ朝、周りのたくさんの人たちが

“당신에게서는 참으로 아름다운 향기가 나네요.”
“あなたからとても美しい香りがするね”

라는 말을 듣기를 바래 봅니다.
という言葉を聞くのを望んでみます。

좋은 글 주신 안동철님께
いい文章を下さったアン・ドンチョル様に

감사와 축하의 인사를 드립니다.
感謝と祝賀の挨拶をいたします。

더불어

[부사] ⇒더불어

더불어

[자동사][타동사] 不完全動詞。

<1> [자동사][타동사] 助詞 ‘와·과’ の後に付いて ‘더불어’ の形で使われる:いっしょにする;共にする;伴う;連れる。

난초 [蘭草]

[명사] 『식물』란(란科の植物の総称)。

풍기다

<1> [자동사][타동사] (においや気配などが)におう;におわせる;漂う;漂わす。

<2> [자동사][타동사] (鳥類などが驚いて)四方に散る;また飛び立たせる。

기상 [氣象]

[명사] 氣象。

<1> [명사] 『기상』晴雨·気温·風など大氣中の変化や状態;天氣。

개:다1

<1> [자동사] (空などが)晴れる;(雨が)上がる。

<2> [자동사] (気分などが)晴れる。

얕다

<1> [형용사] (深さや奥行きなどが)浅い。

<2> [형용사] (高さが)低い。

막1

<1> [부사] たった今;今しがた;今しも。

<2> [부사] ちょうど(その時);まさに。

걸히다

[자동사] ‘걸다1’ の受動。

<1> [자동사] (雲·霧などが)晴れる。

초월 [超越]

[명사·하다형 자·타동사] 超越。

<1> [명사·하다형 자·타동사] ある限界·基準·程度を超えていること。

유림 [儒林]

[명사] 儒林;儒者の社会。

리-ちょう [李朝]

[명사] 《「李氏朝鮮」의 준말》이씨 조선. 이조. 근세 조선.

사:람-됨

[명사] 人となり;うまれつき;人柄。

가리키다

<1> [타동사] (言葉·表情·動作などで)指す;指し示す;指さす;示す。

<2> [타동사] (記号や器具などで)方向や時刻などを知らせる;示す。

저:자 [著者]

[명사] 著者;書物を書いた人;著作者;著述者。

오끼-かえる [置き換える]

1. [하1단 활용 타동사] 옮겨 놓다.

2. [하1단 활용 타동사] 바꿔 놓다. 치환하다. 대치(代置)하다. 【문어형】오끼카ふ {하2단 활용}

결실 [結實]

[명사·하다형 자동사] 結実。

<1> [명사·하다형 자동사] 実を結ぶこと。

趙光祖 (초·그완조)

チャングムで名前だけしか出てこなくて暗殺された人じゃないかしら

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B6%99%E5%85%89%E7%A5%96>